キャラクター名
桐矢・ヴォルコフスキー(Тоя Волковский)

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハィロゥ モルフェウス	ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	元暗殺者
オプショナル		年齢	22	性別	男
覚醒	無知	衝動	嫌悪	初期侵食率	30 %
出自	結社の一員	経験	殺傷(LM P28)	邂逅	恩人：泰原

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	0	0			1
感覚	5	1	0			6
精神	1	0	0			1
社会	1	0	0			1

HP	23
行動値	13
(非装備時)	13
戦闘移動	18
全力移動	36

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	9	3	ＲＣ	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ヘルスナイパー	射撃	6r+12		13		HR導入不可時常備化。minor使用時射撃+2
ヘルスナ通常コンボ	射撃	6r+12		31		他装備不可、至近不可 装甲無視
ヘルスナ100%コンボ	射撃	9r+12		36		他装備不可、至近不可 装甲無視
レッドテンペスト	射撃	6r+12		22		main終了時HP-1d 他装備不可、至近不可

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
スニーキングスーツ		2			購入10 隠密時判定+1d

合計装甲：	2	合計回避：	0

所持品	
コネ：要人	
インクリボン	
コネ:手配師	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
伝承者:射撃	P	N		
泰原忠信	P 好意	N 不安		
UGN	P 誠意	N 無関心		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4	残り財産P： 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
C：エンジェルハィロゥ	2	2	major					
効果：	いつもの							
陽炎の衣	2	3	minor	至近	自身	自動		
効果：	ﾒｲﾝﾌﾟﾛｾｽ終了まで隠密							
見えざる死神	4	3	major	武器		対決		
効果：	隠密時、ダイス+1、atk+[Lv*3]							
水晶の剣	3	4	major	至近	効果参照	自動		
効果：	シナリオ間武器atk+[Lv*2]シナ3回							
天の業物	1	4	auto	視界	単体	自動	limit	
効果：	↑使用した武器の判定C値-1(下限5)							
ペネトレイト	1	3	major	武器		対決		
効果：	装甲無視 判定-1d							
サイドリール	★	-	major					
効果：	射撃達成値+3,damage+1D							
折りたたみ	1							
効果：	ウェポンケース代わり							
真昼の星	★							
効果：	超視力							
ウサギの耳	★							
効果：	超聴力							
七色の直感	★							
効果：	感情等を読む 自分<知覚>vs対象<意志>							
効果：								
効果：								

「殺すべくして殺す。それだけだ」
「ヤスハラ、今日も来たぞ。“リハビリ”、始めるか」

桐矢(とうや) ヴォルコフスキー
Тоя Волковский
英表記:Toya Volkovsky
CN:【幻影の如く不可視なる者】“インヴィジブル・ファンタム”Invisible Phantom
あるいは、【不可視の理想郷】“キーテジ”Китеж/Kitezh

ロシア人と日本人のハーフ。父姓はなし。
元暗殺者。16歳頃にUGNロシア支部が保護、本人の希望により日本支部に転送される。
やや無骨でゆっくりとした喋り方なのは、ロシアにいた頃にあまり日本語を喋らなかったためである。そもそもコミュ障な節もあるが。
親は行方不明。元いた組織は壊滅。彼に残されたのは折りたたみで持ち運んでいたスナイパーライフルと、
暗殺者特有の癖———足音や気配どころか、自らの姿を消す技だった。
その癖はかなり酷く、一時期は自分で鏡を覗いたり自分の体を見ようとしても見えなかった。そのせいで一時的に精神を病んでいた。
現在はUGNの医療班に務める友人、泰原 忠信の元でその癖を治す特訓を付けてもらっている。

とある暗殺組織のもとに生まれ、育てられる。
組織の中ではライフルの扱いを学んだ。
加えて無意識下で、自らのレネゲイド能力により光を操作して姿と気配を消す術を学んだ。
狙撃に最適な物陰がなくとも自分に当たる光を操ることで姿を消し、
見えない弾丸を相手にご馳走する彼は、暗殺者として長らく使われていた。